

尾張旭市教育委員会

(令和7年12月)

定例会会議録

尾張旭市教育委員会

尾張旭市教育委員会（12月）定例会会議録

- 1 日 時 令和7年12月24日（水） 午後2時00分
- 2 場 所 市役所3階 講堂（1）
- 3 出席者 教育長 三 浦 明  
委員 鈴木 厚子  
委員 戸原 弘二  
委員 近藤 三博  
委員 市野 正枝
- 4 出席職員 教育部長 山下 昭彦  
管理指導主事 伊藤 和由  
教育部次長兼教育政策課長 大内 裕之  
学校教育課長 森 朋宣  
指導主事 中山 博喜  
学校給食センター所長 三浦 明美  
生涯学習課長 周防 康尚  
生涯学習課主幹 鈴木 直子  
図書館長 二村 正篤
- 5 従事職員 教育政策係長 高橋 浩代
- 6 傍聴者 2名
- 7 会議に付した事件  
なし

	開 会 午後2時00分
教 育 長	<p>本日の出席委員は5名です。定足数に達しておりますので、ただいまから、12月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>12月定例教育委員会の会議録の署名は、鈴木委員を指名しますので、よろしく申し上げます。</p> <p>12月、師走に入り、今年もあと1週間ほどとなり、残り少なくなってきました。未だにインフルエンザの流行も収まることなく、全国的にも広がっております。市内の小中学校は、昨日が終業式で、今日からは冬休みに入りました。先週まで、連日のように学校から、インフルエンザによる欠席の報告があり、学級閉鎖等を行わなければならない状況が続いておりました。年明けは、どのような状況になっているかわかりませんが、学校はもちろん、その他の施設でも、感染が拡大しないように基本的な対策など呼びかけていただくようお願いします。また、委員の皆様も体調管理について、より一層、ご留意くださいますようお願いいたします。</p> <p>さて、先日、城山小学校に行き、朝の登校の安全指導から帰りの下校指導まで1日の城山小学校を体験してきました。その中から、少し、お話をしたいと思います。2年生の生活科の授業では、そのクラスの子どもたちが、畑で育てた大根を収穫し、翌日は、大根を切って、おでんにして食べるまでの授業を体験してきました。まず、子どもたちといっしょに畑に行き、子どもたちが育てた大根を抜きました。小学2年生でもあり、初めての経験の児童も多く、畑で大根を抜く時に、折ってしまう子どももおり、抜き方をアドバイスしました。「まず、葉っぱではなく、根元を持ち、上に引き抜く、でもね、引き抜く時は、反時計回りに回しながら引き抜くんだよ。」と、私が母から教わった方法を教え、少しは折れずに抜くことに貢献できたと思います。その後、大根を水で、きれいに洗い、葉を取りました。翌日は、子どもたちが、先生の指導</p>

	<p>により、包丁で大根を切り、だし汁で、茹でて、みんなで、美味しく食べました。子どもたち自身で育て、収穫し、自分たちで、包丁や火を使って、おでんを作り、食べるまでの体験授業で、ほとんどの子どもたちにとっては、全てが、初めてのことでした。子どもたちの感想では、「初めて大根を切ることができたから嬉しかったです。最初は固いと思ったけど、簡単に切ることができました。みんなで作った料理は、やっぱり美味しかったです。また、みんなで作りたいです。」などの意見がありました。委員の皆様、どう思われたでしょうか。今日、ICT、SNS、タブレットも必要ですが、子どもたちにとっては、やっぱり、体験です。「体験は宝です。」 子どもたちに、このような体験ができる「学校」、「学校教育」の力は、素晴らしいと、あらためて感じました。私にとっても、素晴らしい体験でした。</p> <p>さて、市では、12月1日（月曜日）に、市文化会館において「市政功労者表彰式」が行われました。教育委員会関係では、別紙のとおり本市の発展に多大なる貢献をいただいた方々が、表彰されましたので、お知らせさせていただきます。</p> <p>また、年明けの1月11日（日曜日）に「二十歳の集い」が開催されます。今回から、文化会館1箇所で開催します。委員の皆様には、年明けのお忙しいところ、ご出席いただくよう、よろしく願いいたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、続いて私からの報告をさせていただきます。</p> <p>本日の報告は1件でございます。教育長の現場訪問とあります資料をご覧ください。</p> <p>【パワーポイントに基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間における啓発行事</li> </ul>
教 育 長	<p>それでは次第の2「前回会議録の承認について」に入ります。各委員は、11月定例会会議録について、訂正等がありましたらお願いします。</p> <p>（無しの声）</p> <p>無いようですので、11月定例会会議録は原案どおり承認します。会</p>

	議録承認の署名を行う委員は鈴木委員を指名しておりますので、後ほど お願いします。
	次に、次第の3「報告」に入ります。事務局から報告をお願いします。
教 育 部 長	(資料に基づき説明)
	・ 12月議会について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
鈴 木 委 員	教育支援ルーム「つくしんぼ」に通っている子どもたちは、お弁当を 持参されているのでしょうか。
指 導 主 事	必要に応じてお弁当を持参してもらっています。
鈴 木 委 員	予約をすれば、給食を食べれるようなシステムがあっても良いと思 います。給食を食べることで、少しステップアップできるのではないかと 思います。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
管 理 指 導 主 事	(資料に基づき説明)
	・ 12月校長会議等について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
教 育 部 次 長 兼 教 育 政 策 課 長	(資料に基づき説明)
	・ 後援・推薦行事について
	・ 情報公開請求について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	(資料に基づき説明)
	・ 学校給食センターを活用した社会と繋がるきっかけづくり事業の試

	行について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
近 藤 委 員	定員は10組程度と記載されておりますが、何人くらい参加されるのでしょうか。
学校給食センター所長	初の試みですので、何とも言えませんが、10組程度集まってほしいと思っております。それ以上になると嬉しいです。
鈴 木 委 員	食物アレルギー対応を実施しないということですが、アレルギーに対応したあさびースマイル給食を実施されているので、そちらも併せて、2回に1回は、アレルギーを気にせず食べれるように実施しても良いかと思えます。
学校給食センター所長	参考にさせていただきます。
教 育 長	教育支援センターに通えている児童生徒は、まだ社会とのつながりもありますが、どこにも通えていない児童生徒たちが、こういうことをきっかけに外に出て、何らかにつながってほしいという学校給食センターの発案があったものですから、ぜひやろうと、私も積極的にすすめて行きたいと考えております。皆様、ご協力お願いいたします。
	それでは、次の報告をお願いします。
生涯学習課主幹	(資料に基づき説明)
	・令和7年度尾張旭市小中学校 PTA 連絡協議会教育懇談会の開催結果について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
市 野 委 員	2点あります。1点目が、アンケートの回答方法について、WEBか紙どちらでしょうか。2点目は、「子どもたちの朝食の状況」についての設問で、選択肢の中に理由がないと一定数が回答しておりますが、このなかに理由がないを選択されている方が多かったように思いますが、自由記述にはなっていないのでしょうか。
生涯学習課主幹	まず1点目の回答方法につきましては、WEBでの回答です。保護者配信システムを利用し、アンケートを実施し、回答いただいております。

	<p>2点目の自由記述になっていたかについてですが、自由記述にはなっておりませんが、具体的にはその記述がなかったということで、その他について、今後このようなアンケートを実施するときは、自由記述でも理由を書きただけのようにしていきたいと思っております。御意見ありがとうございます。</p>
市野委員	<p>ダイエットをしている児童生徒が約20%いて、どんなダイエットをしているかについては、運動をするですか、甘いものをひかえるということでしたら良いのですが、量を減らしたり、食事を摂らないことを選択している児童生徒もいるようですので、学校でも食育については色々取組はされているとは思いますが、そこに触れられていなかったの、どのようにお考えでしょうか。</p>
生涯学習課主幹	<p>まずダイエットをしている児童生徒が約20%ということについてですが、やはり、思春期になりますと、体形を気にして、普通の体形であっても、インターネットなどから情報を得て、モデルのような体形になりたいなどで、必要のないダイエットをしてしまっていることが、家庭でも問題となっているとの御意見がございました。ですので、過度なダイエットということが問題視されて、今回のこのような設問になっております。続きまして、学校で食育については指導しているということでしたが、現場のことについては、担当よりお答えします。</p>
指導主事	<p>ダイエットにつきましては、指導をしていないですが、給食の残菜が問題となっており、給食の栄養面や、食べることについての重要性については話をしております。</p>
近藤委員	<p>現在の児童生徒の病的や病的でないなどの肥満や栄養の状況等について教えてください。</p>
教育長	<p>健康診断の結果を基に、肥満等の把握は学校でされていますか。</p>
管理指導主事	<p>数値は手持ちにないのですが、肥満率は出しています。また、学校では、肥満と食べる食べないに関連しての調査はしたことがありません。</p>
近藤委員	<p>家庭や個人の事情もありますので、単純にこれだけではダイエットに</p>

	ついで言えないかと思ひます。
教 育 長	この懇談会については、今まで、行政や学校に対しての要望が多いという感じでしたが、今回はテーマが食ということで、皆さん自分事としてとらえていただいて、皆さんがそれぞれの立場で話されており、大変有意義な時間が持てたと感じました。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
	・令和7年度尾張旭市民文化祭実施結果について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
	・令和7年度市民祭警固実施結果について
近 藤 委 員	鉄砲の数が特に減っているのは、使用する人が高齢化により減ったことによるものですか。
生涯学習課長	鉄砲の数も使用する人も高齢化で減っています。
鈴 木 委 員	女性の参加が113人と報告をいただきましたが、平成22年と27年は女性の参加は無かったということでしょうか。
生涯学習課長	実際に過去の映像を見ると、女性の参加や小さい女の子が棒の手をやっていた記録は確認できますが、女性の参加を進めていこうという強い思いもありまして、今回、数をしっかり把握いたしました。
鈴 木 委 員	女性の参加が増えたにもかかわらず、総数としては減っているのです、女性も入れて広げていかないとますます減っていってしまう。取組としては、今年は女性を入れてぎりぎり間に合ったかなという印象を受けますので、今後もっと女性を含めて参加者を増やしていただけるといいかなと思ひます。

戸原委員	今後も女性の数を調査されるのでしょうか。むしろ、調査をする必要はあるのでしょうか。
生涯学習課長	女性参加が必要だという認識の中で、今後も女性の参加者数を各組織に確認していきたいと考えています。
戸原委員	参加できなかった女性が参加できるようになったことは、今の時代のニーズに合っていてとても良いことですが、これ以降は、男性だから女性だからと数を追いかける必要はないのではないかと思います。数が少なかるうが多かるうが、この地域で伝統を守って行きたい人たちの皆さんの総意ということで良いのではないかと思います。
市野委員	鉄砲などの危険なものに、人がいないから、女性の手を借りてというのはどうなのかなという気持ちがあります。
教育長	今回、参加人数が減っている原因の一つに、新居地区からの馬が2頭から1頭となったことにより、馬付きの参加者が減っていることもあります。担い手が少なくなる中、各地区で苦勞されながら保存してくださっているの、各地区で保存活動ができるよう市としても、後世につなげていけるよう支援していきたいと思います。それには啓発が大事ですので、今後とも御協力をお願いいたします。
教育長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
	・尾張旭市どうだん亭管理運営に関するサウンディング型市場調査結果について
教育長	サウンディングという形で、教育委員会としても今回初めての取り組みになります。どうだん亭という施設を民間の方にどのようなかたちで活用していったら良いかの意見提案をいただき、その実現可能性を調査していくもので、今回業者の方から提案をいただいたところです。こちらについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

近藤委員	最終的には、市議会で決定するのでしょうか。教育委員会で決定するのでしょうか。
生涯学習課長	まだ、最終的な段階ではなく、まず、どのような事業ができるかという提案を民間業者から提案をいただきました。今後、どのように進めていくか管理方法などを含め、市民に負担がなく持続可能なものにしていくようを探していくのが次の段階です。
教育長	再度、今後の進め方について説明してください。
生涯学習課長	あくまでも文化財ですので、まずは何をするのかを決め、文化財保護審議会などそれぞれのところで検討し、決定していくことになります。
近藤委員	市長はどうしていききたいというお考えでしょうか。
教育部長	何とかこの施設をもっと有効的に活用ができればというところが、一番のこの根本的なところであり、有効活用するにはどうすれば良いのかを現在模索しているところでございます。
近藤委員	非常に難しい問題なので、誰かがかじ取りをして決めていかないといけないですね。
教育長	各事業者から意見を聞いて、今後はどのような検討をしていくのでしょうか。
生涯学習課長	今回、この施設が、民間事業者の参画が可能だということが分かり、それは、大変大きな事だと認識しています。併せて駐車場のキャパシティなどの課題もみえてきました。そのようなことを踏まえ、どうしたらできるか、どのような管理方法が良いのかなどを再度の提案などで、模索していきたいと考えています。
近藤委員	いつまでというタイムリミットはないのでしょうか。
生涯学習課長	一般公開もなくなり、貸館業務として今は利用しておりますが、このままでは利用価値としては大きく伸びてきませんので、早々に次のステップに進んでいきたいと考えております。
戸原委員	ゴールを決めれないのは分かったのですが、サウンディングをして、この次がいつどのタイミングで何が起こるのかを教えてください。

生涯学習課長	担当課の案ですが、3つの管理方法がございました。1つ目は「包括施設管理制度での参入」、2つ目は「市直営を前提としたイベントでの参入」、3つ目は「PFI（企業の管理・運営）の参入」の中で、それぞれのメリットとデメリットを確認して、市として一番良い方法で再度、事業をしていただける方を募集するのか、次に向けて進めていきたいと思っております。
戸原委員	今回サウンディングをして、それにより、ルールというか管理方法を定めた上で、さらに深堀りをしてやっていくということを準備が出来次第やっていくということですね。
教育長	貴重な文化施設ですので、守る立場で、今後どうしていくのかをしっかりと検討していただきたいと思います。
教育長	他にご意見・ご質問はございませんか。 (無しの声) 無いようですので、報告については終了いたします。
教育長	次に、次第の5、「その他」に入ります。事務局から説明をお願いいたします。
教育部次長兼教育政策課長	(次回定例会日程について説明)
教育長	それでは、これをもちまして、12月定例教育委員会を閉会いたします。
	閉 会 午後3時13分
	教育長 三 浦 明
	委員 鈴 木 厚子